

製品/プラットフォーム

IP電話機能付きPCサーバ「UNIVERGE iExpress5800/Lite II」

PC Server with IP Telephony Function “UNIVERGE iExpress5800/Lite II”

榎田 慎哉*
Shinya Kushida

要旨

本稿では、「UNIVERGE iExpress5800/Lite II」の概要について説明します。

「UNIVERGE iExpress5800/Lite II」は、中小、SOHO規模で、IP電話を利用した業務の効率化や知的生産性向上などのソリューションを実現するプラットフォームとして、最適なIP電話機能付きのPCサーバです。

This paper describes “UNIVERGE iExpress5800/Lite II”. UNIVERGE iExpress5800/Lite II is a PC server with the IP telephony function which improves operating effectiveness and productivity for small and medium business and SOHO.

1. まえがき

ブロードバンド回線の発達により、企業でのIP電話の導入が急速に進んできています。2,3年前までは、企業のIP電話の導入目的は、データと音声のネットワークインフラを統一することによるコスト削減にありました。

しかし、最近では、先進企業でのソフトフォン導入事例の増加や携帯電話と無線LAN電話機の機能を併せ持つFOMA端末「N900iL」、IP電話と販売管理ソフトやグループウェアなどのアプリケーションとの連携ソリューションなどが登場し、インフラコスト削減だけでなく、IP電話を導入することによる業務効率化や知的生産性の向上などの効果に注目が集まっています。

このような市場環境のなかで、小規模オフィスや部門においても、上記のような最新のIP電話ソリューションに対するニーズが高まってきています。こうした市場ニーズに応じて製品化したのが、UNIVERGE iExpress5800/Lite II（以下、iExpress5800/Lite II）です。

2. iExpress5800/Lite II の製品構成

iExpress5800/Lite II は、以下の製品で構成されます。

- ① PCサーバ「Express5800/110Gc」
- ② 呼制御装置「CommunicationController100」
- ③ VoIP gateway「MediaGateway」

Express5800/110Gcは、OSとして、Windows Server 2003を搭載し、IP電話と連携するアプリケーションを搭載するためのタワー型のサーバでCPUを1個搭載しています。

CommunicationController100（以下、CC100）はSIP（Session Initiation Protocol）に対応したIP電話の呼制御を司る装置です。100台までのIP電話端末を接続可能で、動作する電話端末としては、ソフトフォン「DtermSP30」、固定電話機「NEterm」、FOMAと無線LAN端末のデュアル端末「FOMA N900iL」があります。また、オプション機能として、登録した相手の在席状態を確認できるプレゼンス機能を提供するUNIVERGE PS100にも対応しています。

MediaGateway（以下、MG）は公衆回線に接続するための装置で、アナログ回線、INS回線に対応しています。

3. iExpress5800/Lite II の特徴

3.1 アプリケーションとの連携

従来のPBXで利用するアプリケーションソフトは、NEC独自のアプリケーションインタフェース（以下、API）を利用して開発を行っていました。

iExpress5800/Lite IIでは、プレゼンスやDtermSP30などのAPIをSOAPやCOMなどの標準的なインタフェースを利用して公開しています。また、ミドルウェアソフト「VCOLLABONET for SV7000」と連携することによって、呼制御サービスについても標準的なインタフェースで公開可能です。

これにより、簡易的なCTIソフトやコールセンタソフトなどを、従来よりもオープンな環境で開発可能です。

また、上記のようなAPIを利用することで、今まで電話と連携することのなかったアプリケーションにも、付加価値機能としてIP電話連携機能を付与することが可能になります。すでに、UNIVERGEパートナープログラムにアプリ

* クライアント・サーバ事業部
Client And Server Division

ケーションパートナーとして参画していただき、iExpress5800/Lite II と連携させるアプリケーションを開発し、製品として販売されているパートナー様もいらっしゃいます。

以下では、iExpress5800/Lite II と連携するアプリケーションの代表例を紹介します。

(1) やさしく名刺ファイリング連携

メディアドライブ㈱様の「やさしく名刺ファイリング」との連携が可能です。やさしく名刺ファイリング自体は、名刺を専用スキャナで画像データとして取り込み、名刺上の氏名や電話番号などを自動で読み取り、名刺DBを作成するソフトになります。

名刺管理ソフトがDtermSP30と連携すると、名刺DB上に登録されている電話番号をクリックすることで電話発信が可能になります。

(2) desknet's 連携

㈱ネオジャパン様のグループウェア「desknet's」との連携が可能です。連携内容としては、desknet's のアドレス帳や伝言表に登録してある電話番号をクリックすることで、電話発信が可能になります。

また、電話の発着信履歴情報などもdesknet's上で確認できます。desknet'sは、VCOLLABONET for SV7000を介してCC100と連携しており、DtermSP30、NEtermなど、数種類の電話端末から電話発信を行うことが可能になります。

3.2 System Manager Basic

iExpress5800/Lite II は、UNIVERGE SV7000のアーキテクチャを踏襲しています。そのため、マルチラインやコールピックアップなど、PBXの機能のなかでも頻繁に使われる内線機能をIP電話システムでそのまま利用することが可能です。

さらに、iExpress5800/Lite II では、PBXの設定をより簡単に分かりやすくするために、SMB (System Manager Basic) というGUIベースの設定ツールを使用します。

(1) 一括設定

電話機やMGに、IPアドレス登録などの基本的な立ち上げ設定を行った後は、ほとんどの運用データの設定はSMBで行うことが可能です。また、IP電話システムが稼働中に設定変更を行う場合でも、システムを停止させることなく、自動的に設定を電話機やMGに反映させることが可能です。

(2) 分かりやすいGUI

難しいコマンドは使用せずに、直感的に設定方法が分かるようなGUIを採用しています。設定例を図に示します。

図はSMB上でNEtermの機能ボタンの設定を行う項目の画面イメージです。実際の電話機のイメージを表示し、ボタンデータ部分に設定したい電話機能をドラッグ&ドロップするだけで、電話機の設定が可能になります。

(3) LAN 経由で設定

SMBを利用すると、専用コンソールやケーブルを使用する必要がありません。LAN経由でCC100にアクセスすれば、Internet ExplorerなどのWebブラウザで設定するこ

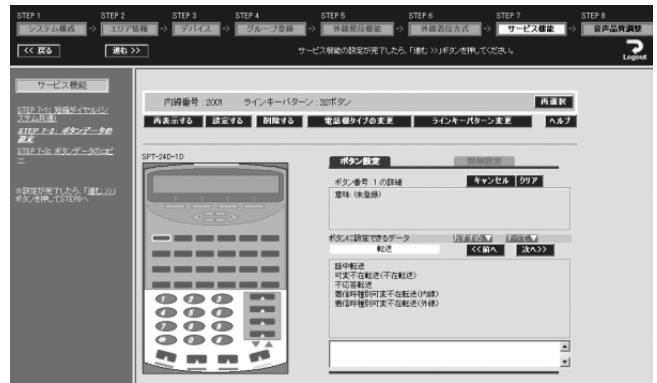


図 SMB の設定画面イメージ例
Fig. Set up image example of SMB.

とが可能です。

4. むすび

iExpress5800/Lite II を利用することで、音声通信とデータ通信を融合し、新しいワークスタイルを実現することが可能になります。

IPネットワークの発展とともに、音声通信とデータ通信はさらに融合されていくと予想されており、今後も最新かつ柔軟な製品を提供していきます。

- * FOMA は、株式会社NTTドコモの登録商標です。
- * Windows Server は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- * やさしく名刺ファイリングは、メディアドライブ㈱の登録商標です。
- * desknet's は、㈱ネオジャパンの登録商標です。
- * その他本稿に記載の会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

筆者紹介



Shinya Kushida

くしだ しんや
榎田 慎哉

2003年、NEC入社。現在、第二コンピュータ事業本部クライアント・サーバ事業部製品技術部勤務。